# 神情協 先端技術研究会 「使えるJenkinsを構築する」 第4回

株式会社ジェイエスピー

#### 本日の予定

- 1. はじめに
- 2. 前回の復習
- 3. Jenkins のその他設定
- 4. グループディスカッション
- 5. 次回について

以下のアカウントを確認してください!

- Jenkins
- Chatwork

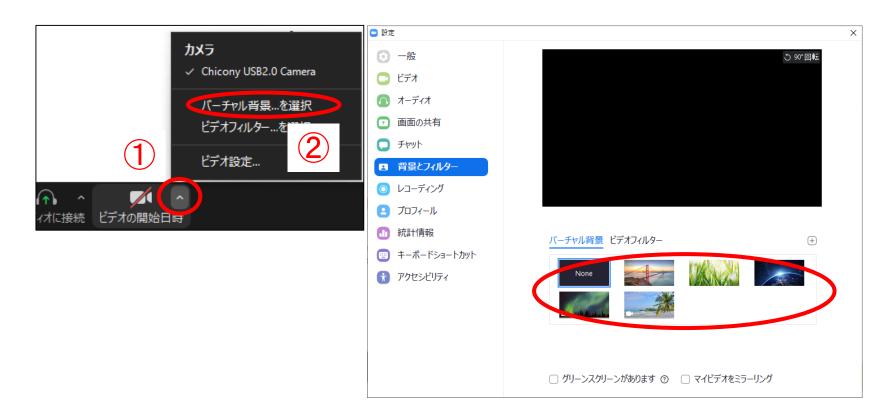
#### スタッフ紹介

- 講師 : 千田 駿人
- 質問等があった場合、

基本的にZoomのチャットでコメントをお願いします。

#### Zoom について

#### 「バーチャル背景」



#### Zoom について

#### ① 「チャット」

質問等で使用



② 「手を挙げる」「手を下げる」

作業の区切り、質疑応答



#### この研究会について

#### 目標

「Jenkinsを使えるものにする手段」を知り、 その利用価値を考える

#### 成果物

Jenkinsで実現できることを提案

→ グループで1つ。デモも OK

#### 今後の予定

	日程	内容	形式
第1回	10/10	CIについて講義/Jenkinsに触れる	オンライン(Zoom)
第2回	11/14	プラグイン/MagicPodの使用	オンライン(Zoom)
第3回	12/12	MagicPodとの連携/グループ話し合い	オンライン(Zoom)
第4回	1/16	Jenkinsのその他設定/グループ話し合い	オンライン(Zoom)
第5回	2/13	成果発表/ <u>懇親会</u> オンライン座談会	オンライン(Zoom)

- 時間:10:00~12:00
- 形式について 新型コロナウィルスの影響で第5回までオンラインとする予定です。

#### 前回について

<目標>

Jenkins と MagicPod の連携方法を知る

キーワード: MagicPod、Powershell

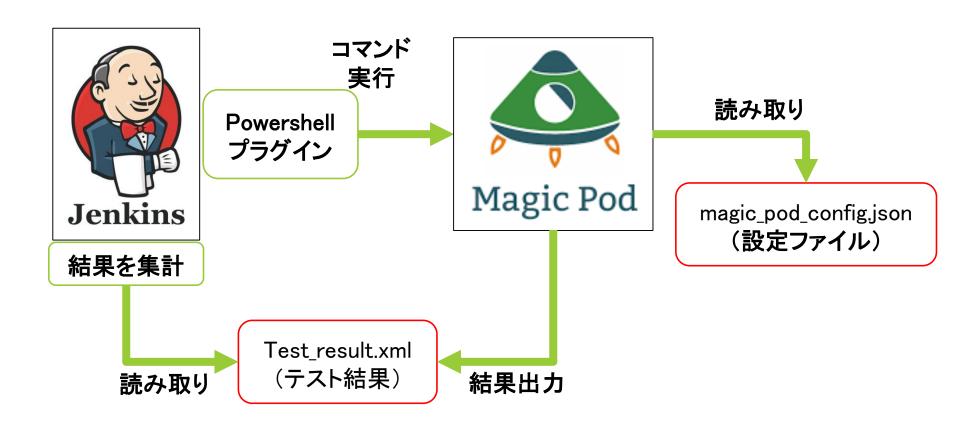
### 前回の内容

- 1. はじめに
- 2. 前回の復習
- 3. JenkinsとMagicPodの連携
- 4. グループディスカッション
- 5. 次回以降について

#### Jenkins と MagicPod の連携

- 1. 設定ファイルの確認 (MagicPod)
- 設定ファイルを編集 (MagicPod)
- 3. Powershellでコマンド実行 (MagicPod)
- 4. Powershellプラグインをインストール (Jenkins)
- 5. ジョブの設定と実行(Jenkins、MagicPod)
- 6. テスト結果の表示 (Jenkins、MagicPod) 【課題】

#### Jenkins と MagicPod の連携



### 本日の予定

- 1. はじめに
- 2. 前回の復習
- 3. Jenkins のその他設定
- 4. グループディスカッション
- 5. 次回について

#### 今回について

<目標>

Jenkins と MagicPod の連携方法を知る

キーワード: MagicPod、Powershell

#### Jenkins のその他設定

- 1. ジョブの変更差分
- 2. Excelの操作
- 3. 権限の設定【おまけ】

このマークのところまで来たら、 「手を挙げる」を押してください」 →

ここまで終わったら「手を挙げる」

#### ジョブの変更差分/権限の設定

#### Case

他プロジェクトの人が 誤ってジョブを修正



自社のサーバ

**Jenkins** 

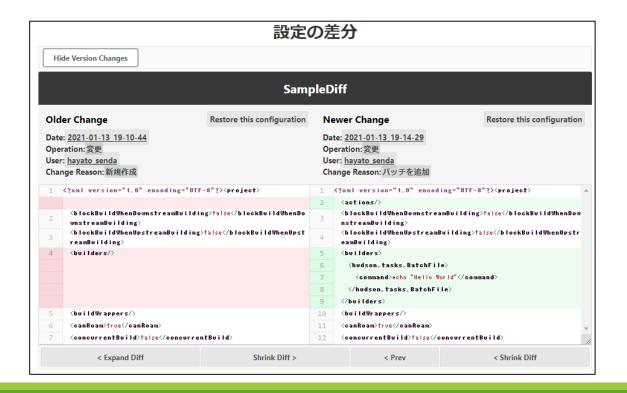
Aプロジェクト のジョブ

Bプロジェクト のジョブ



- ・バックアップ
- ・権限の設定 →【おまけ】があるとうれしい!

- どこが変更されたが差分を見れる(XML形式)
- Git と同様にコメントを残すことが可能











#### プラグインをインストール

#### プラグインのインストール/アップグレード

進備

- インターネットとの接続をチェックします。
- jenkins-ci.orgとの接続をチェックします。
- 成功

Job Configuration History

🧼 成功

Loading plugin extensions

Success

成功すれば完了!

- ページの先頭へ戻る
  - (すぐにインストールしたプラグインを使用できます)

#### オフラインの場合

#### ジョブの変更差分

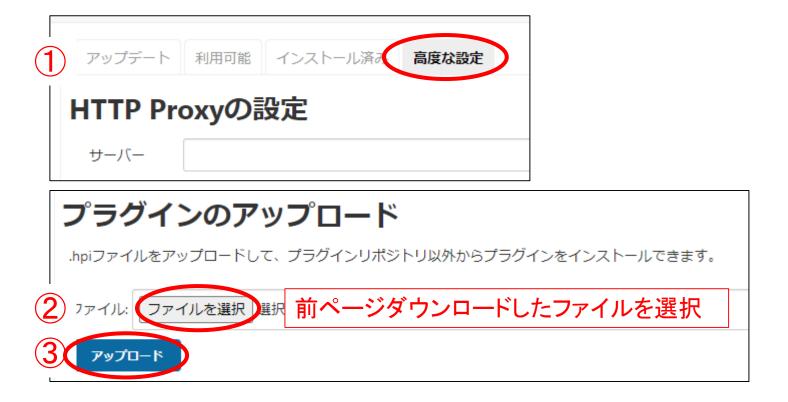
以下でプラグインをダウンロード。

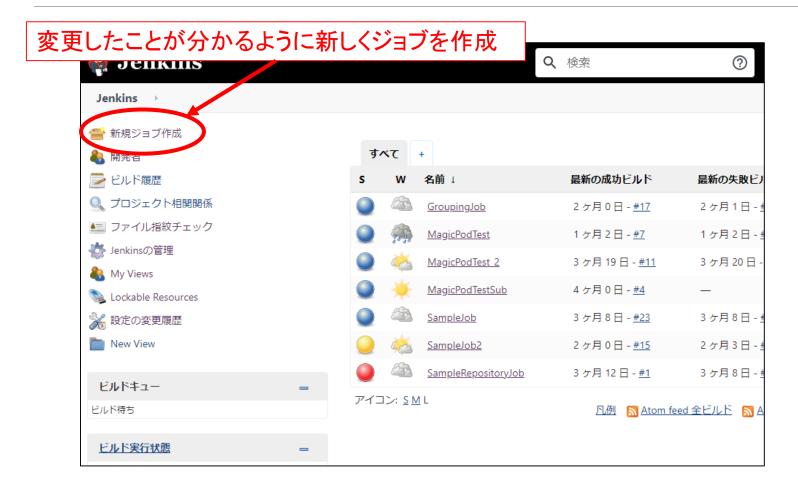
Job Configuration History

http://updates.jenkins-ci.org/download/plugins/jobConfigHistory/

プラグインのインストールは次ページ

#### オフラインの場合





#### 変更したことが分かるように新しくジョブを作成







ジョブの設定 ビルドで「Windowsバッチコマンドの実行」を選択する



#### ジョブの設定

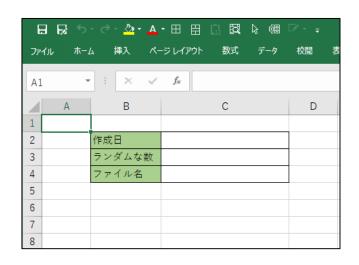








- Jenkinsを使って、定期的に Excel を操作できる。
- プラグインは「ない」。
- バッチからマクロを実行する。
- Excel がインストールされていることが前提。

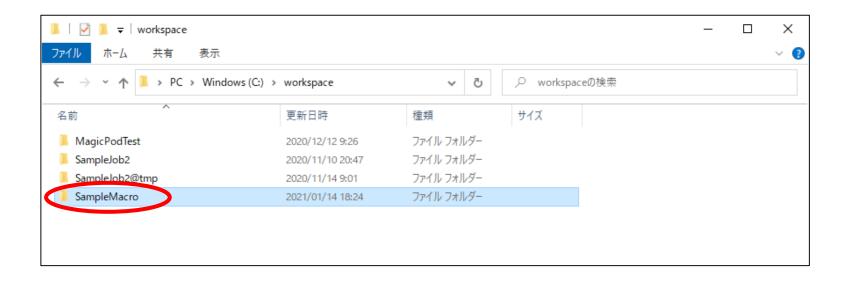




日見り・♂・△・▲・田田県図は、電▽・⇒						
ファイル	ホーム	ム 挿入 ペ-	-ジレイアウト 数式 データ	校閲 表		
C5 • : × ✓ fx						
	Α	В	С	D		
1						
2		作成日	2021/01/14 18:35:28			
3		ランダムな数	0.246166317			
4		ファイル名	SampleMacro.xlsm			
5						
6						
7						
8						

Jenkinsの設定をする前に準備 フォルダを用意する

■ C:¥workspace に新しく「SampleMacro」というフォルダを作成する



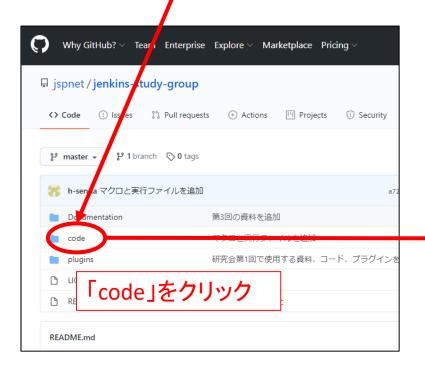
Jenkinsの設定をする前に準備 ファイルを取得する

- 以下URLから取得する(方法は次ページから)
- Gitに慣れている人はでクローンまたはプルをする

URL: <a href="https://github.com/jspnet/jenkins-study-group">https://github.com/jspnet/jenkins-study-group</a>

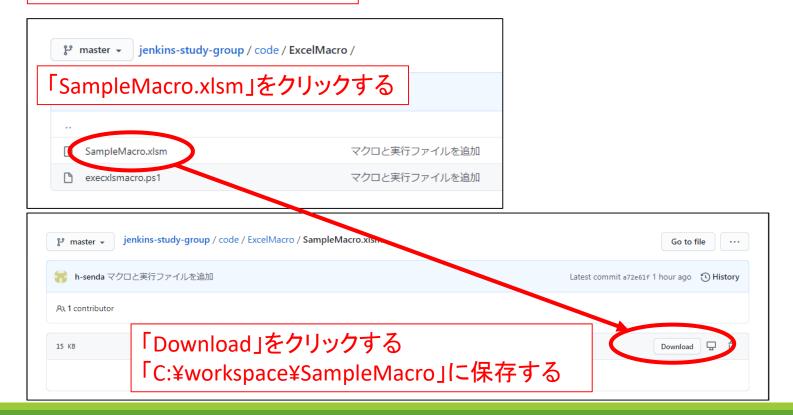


Jenkinsの設定をする前に準備



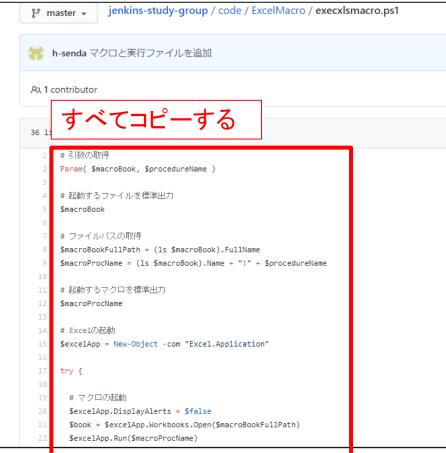


Jenkinsの設定をする前に準備 ファイルを取得する



#### Jenkinsの設定をする前に準備





Jenkinsの設定をする前に準備

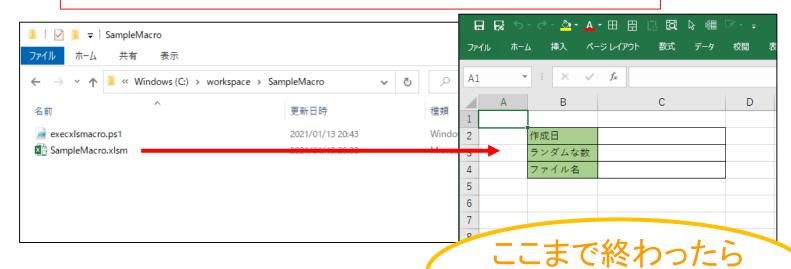
#### メモ帳を開いて、貼り付ける

```
★無額 - メモ帳
                                                                       П
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
# 引数の取得
Param( SmacroBook, SprocedureName )
# 起動するファイルを標準出力
$macroBook
# ファイルバスの取得
SmacroBookFullPath = (Is SmacroBook).FullName
SmacroProcName = (Is SmacroBook).Name + "!" + SprocedureName
# 起動するマクロを標準出力
$macroProcNamel
# Excelの起動
SexcelApp = New-Object -com "Excel.Application"
try {
  #マクロの起動
  SexcelApp.DisplayAlerts = $false
$book = $excelApp.Workbooks.Open($macroBookFullPath)
$excelApp.Run($macroProcName)
  # 上書き保存
$book.Save()
} finally {
  # Excelの終了
  $excelApp.EnableEvents = $false
  $excelApp.DisplayAlerts = $false
  $excelApp.Visible = $false
$excelApp.Workbooks | % { $_.Close($false) }
  SexcelApp.Quit()
                     12 行、15 列
                                         100% Windows (CRLF)
                                                                  UTF-8
```

#### Jenkinsの設定をする前に準備

「SampleMacro」に2つのファイルはありますか?

- execxlsmacro.ps1
- SampleMacro.xlsm
  - →一度開いて右図のように入力されてないことを確認



「手を挙げる」

### ここからジョブの作成 以前作ったジョブをコピーせずに、新規に作成する



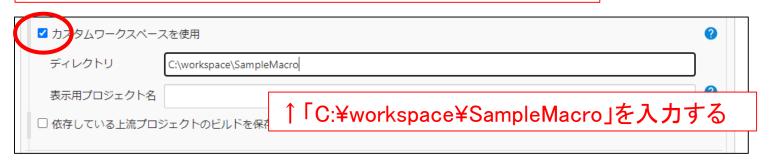


### ワークスペースを変える



### ワークスペースを変える

### ↓「カスタムワークスペースを使用」にチェックを入れる



### バッチコマンドを入力する



### バッチコマンドを入力する

### ↓コピーして「コマンド」に貼り付ける

mkdir C:\footnote{\text{C:}\text{Windows}\footnote{\text{systemprofile}\text{Posktop}} powershell -\text{NoProfile} -\text{ExecutionPolicy Unrestricted .\text{Yexecx}\text{Ismacro.ps1 \text{\$env:xls\_macro\_file} \text{\$env:xls\_macro\_file}



#### ※解説

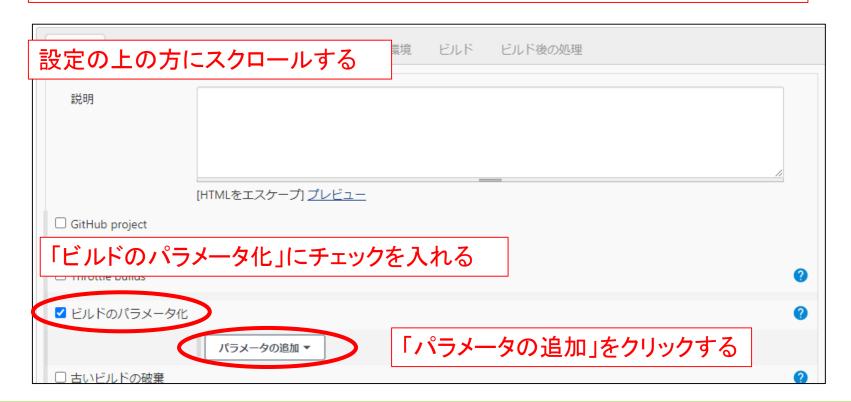
mkdir ~ : ファルダを作るコマンド。「Desktop」のフォルダを作成しなければ、エラーが出るため、必ず作成する。

Powershell: Powershellをコマンドプロンプトで呼び出すコマンド。

-NoProfile -ExecutionPolicy Unrestricted : 一時的にスクリプトが実行の設定を変えるオプション。

(Powershell ではデフォルトでスクリプトが実行できないため)

パラメータを作る ファイル名とマクロ関数名をパラメータにする(環境変数として登録できる)



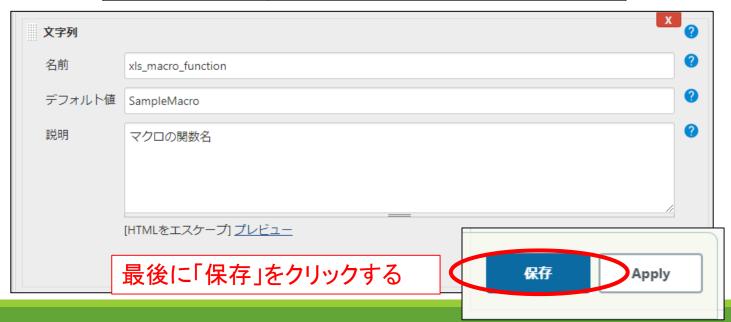
### パラメータを作る(表の値をそれぞれ設定に入力する)

名前	xls_macro_file
デフォルト値	SampleMacro.xlsm
説明	エクセルのファイル名

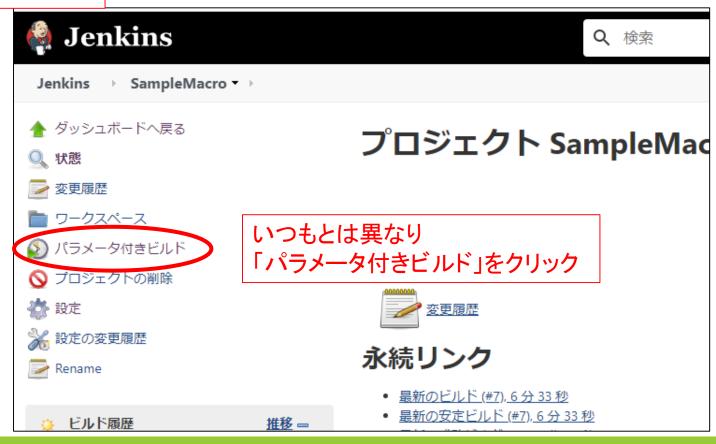


### パラメータを作る(表の値をそれぞれ設定に入力する)

名前	xls_macro_function	
デフォルト値	SampleMacro	
説明	マクロの関数名	

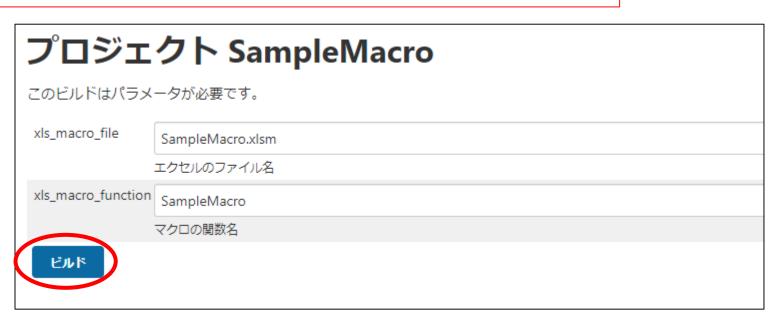


### ビルド実行



### ビルド実行

何も変更せずに「ビルド」をクリックする (ファイル名やマクロ関数名が異なる場合はここを変更する)







### ビルド実行 以下のように表示されればOK



### コンソール出力

ユーザーhayato sendaが実行

Running as SYSTEM

ビルドします。 ワークスベース: C:\workspace\SampleMacro

[SampleMacro] \$ cmd /c call C:\text{Windows}\text{TEMP}\text{jenkins}\text{42006290870778332.bat}

C:\footnote{C:\footnote{Workspace\footnote{SampleMacro\mkdir C:\footnote{Windows\footnote{System}32\footnote{System}10 file\footnote{Desktop} サブディレクトリまたはファイル C:\footnote{Windows\footnote{System}32\footnote{System}20 file\footnote{System}10 file\footnote{Desktop} は既に存在します。

\$env:xls\_macro\_function

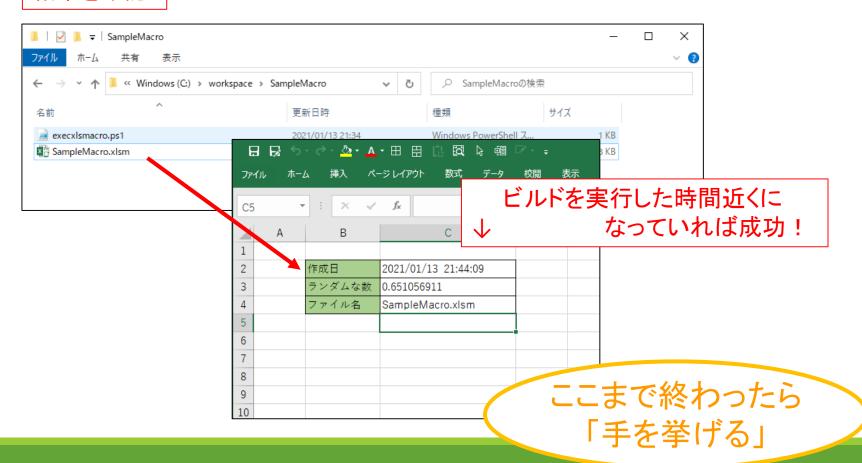
SampleMacro.xlsm

SampleMacro.xlsm!SampleMacro

C:\workspace\SampleMacro>exit 0

Finished: SUCCESS

### 結果を確認



### 補足

■ 定期実行するなら...

[ジョブの設定] → [ビルド・トリガ] → [定期的に実行] にチェックと cron の設定を入力

■ パラメータはどのように使われているか...

パラメータ	env:xls_macro_file (SampleMacro.xlsm)	xls_macro_function (SampleMacro)	環境変数
コマンド	\$env:xls_macro_file	\$env:xls_macro_function	
execxlsmacro.ps1	Param( \$macroBook, \$procedureName )		引数

# 本日の予定

- 1. はじめに
- 2. 前回の復習
- 3. Jenkins のその他設定
- 4. グループディスカッション
- 5. 次回について

# 成果発表について

### 課題

### Jenkinsを使って困ったことを解決する方法を提案

- グループで資料やデモを作成
- 2月13日の第5回で発表(1グループ15分発表、質疑応答5分)
- 必ず Jenkins を使うこと(GitHubやMagicPodを使用してもよい)
- ハードやツールの構成も発表に入れること
- 複数作成してもOK
- 途中でもOK、「本当はこうしたい」「ここが課題」など

# グループディスカッション

- 内容
  - 1. 何を発表するか
  - 2. 成果発表までのTODOと担当
- Chatworkのグループチャットに書く
- タスク機能を使ってもOK!
- ディスカッション中、聞きたいことがあればヘルプで千田を呼ぶ



### 次回について

	日程	内容	形式
第1回	10/10	CIについて講義/Jenkinsに触れる	オンライン(Zoom)
第2回	11/14	プラグイン/MagicPodの使用	オンライン(Zoom)
第3回	12/12	MagicPodとの連携/グループ話し合い	オンライン(Zoom)
第4回	1/16	Jenkinsのその他設定/グループ話し合い	オンライン(Zoom)
第5回	2/13	成果発表/オンライン座談会	オンライン(Zoom)

### ■ 時間:

- ■10:00~ 開始/発表について説明
- ■10:10~ グループごとに発表(1グループあたり15分発表/5分質疑応答)
- ■11:10~ オンライン座談会(詳細は検討中)
- ■12:00~ 終了
- 課題: 成果発表の資料作成

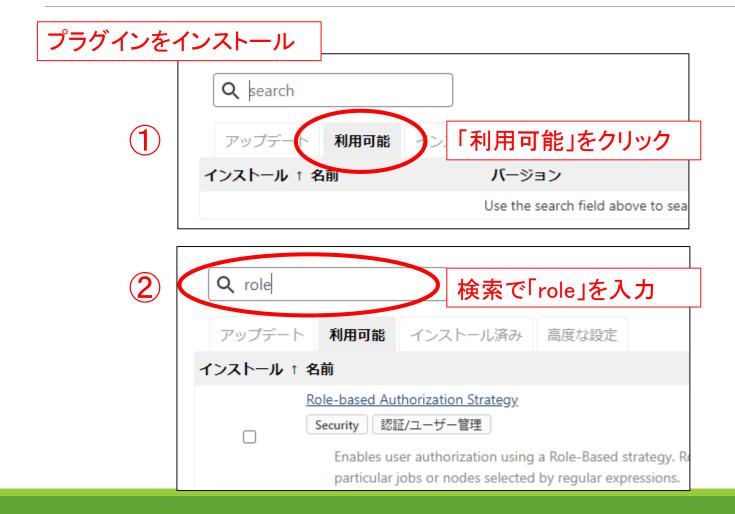
# 皆様お疲れ様でした。 次回の成果発表を楽しみにしてます!

このミーティングは、13:00 まで開いております。 質問等がございましたら、何なりとお申し付けください。

# おまけ











### オフラインの場合

### 権限の設定

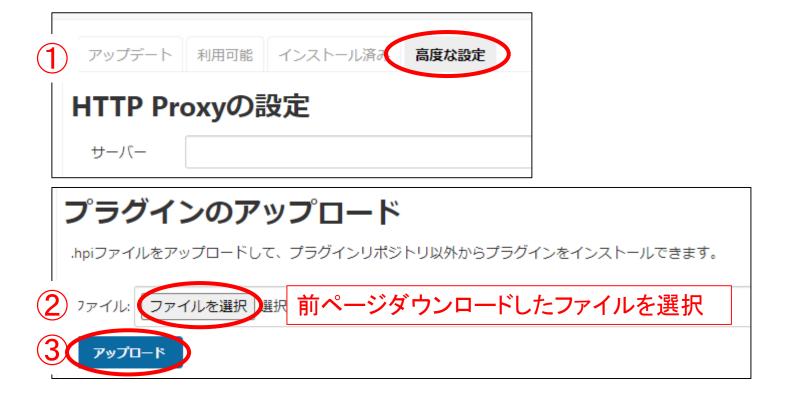
以下でプラグインをダウンロード。

Role-based Authorization Strategy

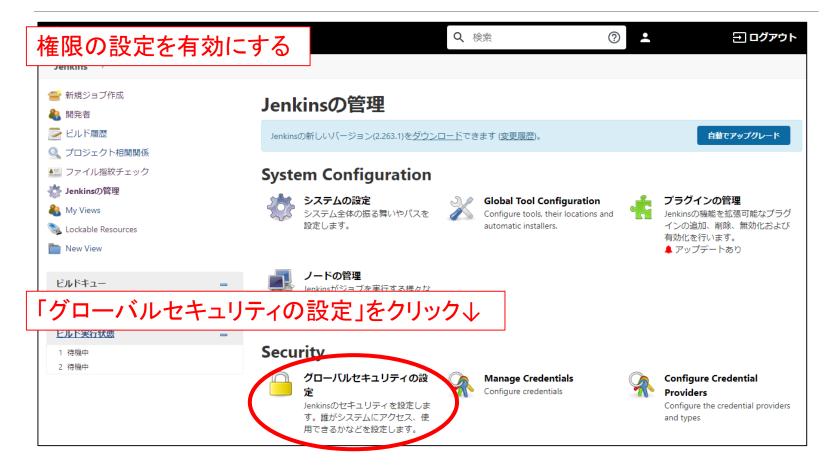
http://updates.jenkins-ci.org/download/plugins/role-strategy/

プラグインのインストールは次ページ

### オフラインの場合

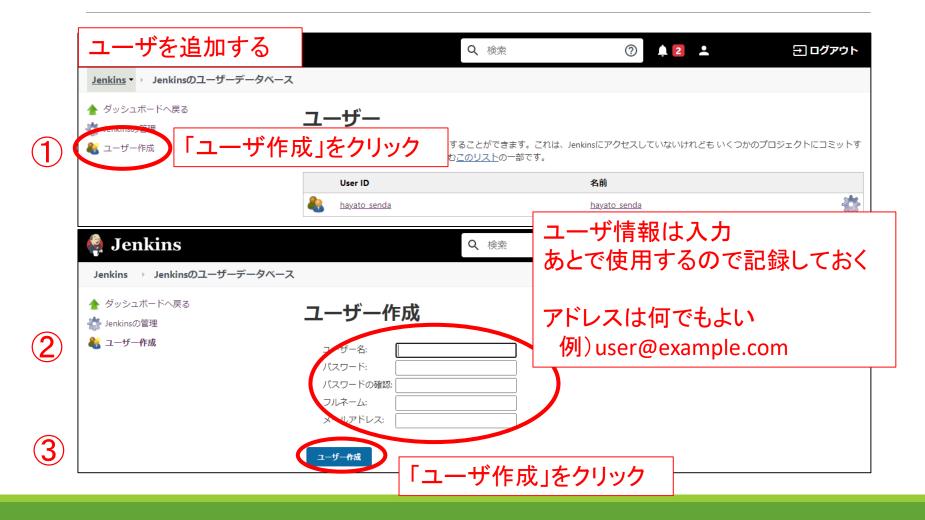










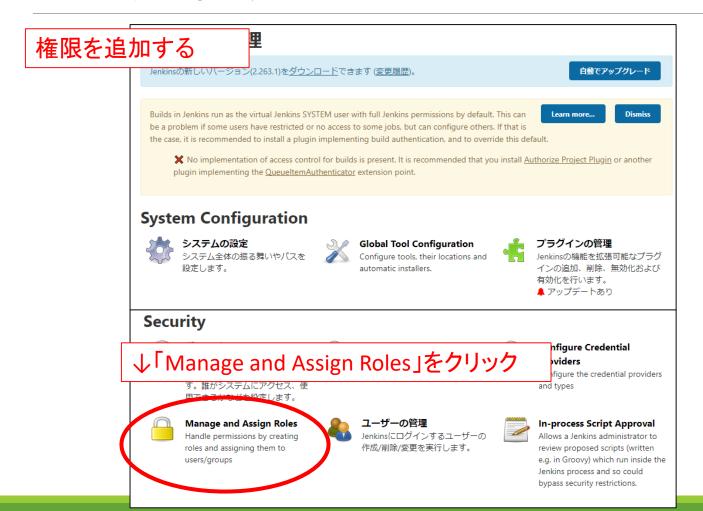


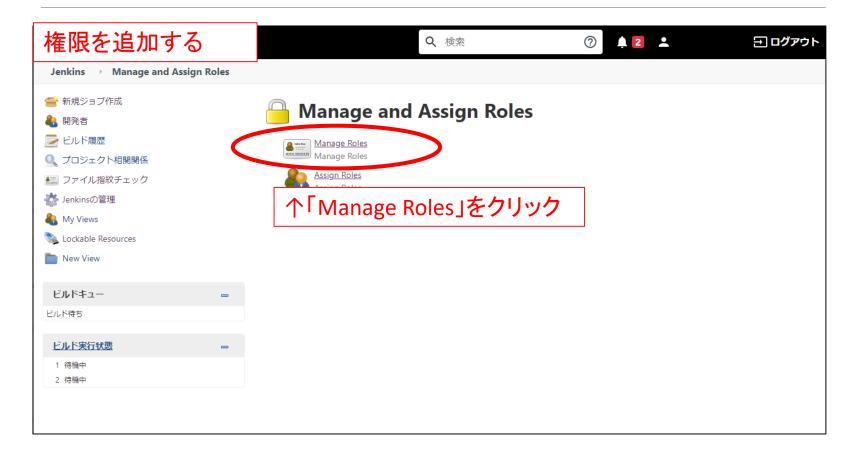
### ユーザを追加する



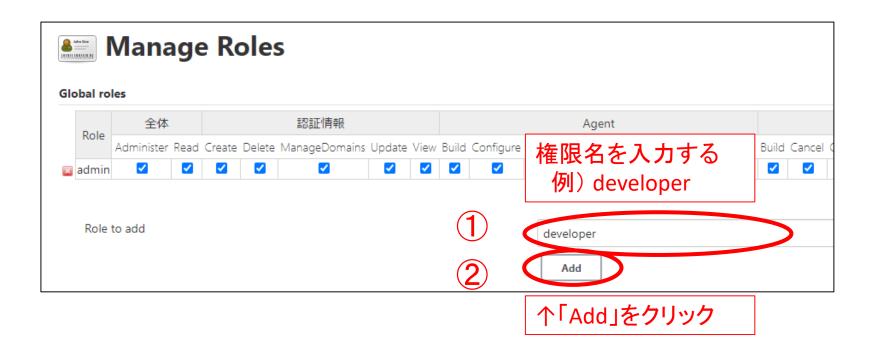
### 権限を追加する





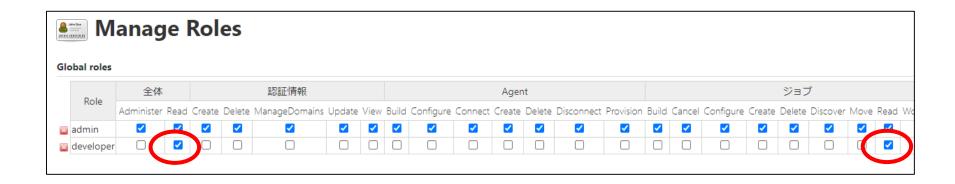


#### 権限を追加する



#### 権限を追加する

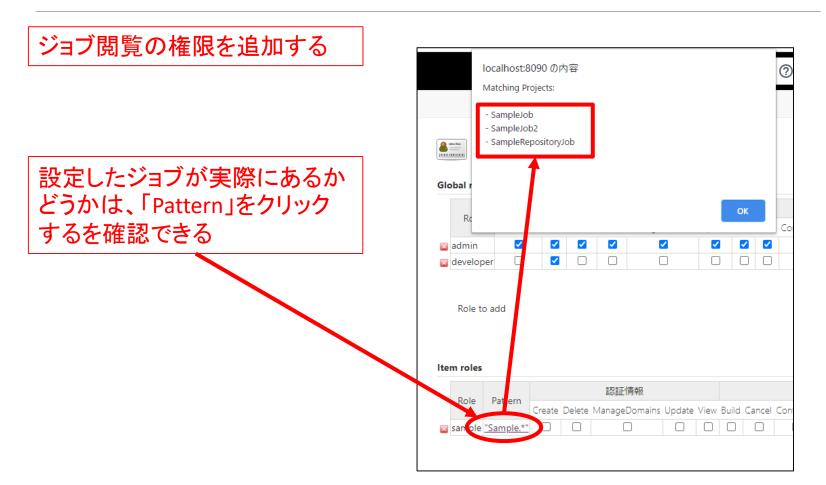
追加した権限名に権限を設定する
※「admin」の権限は変更しないようにしてください!



#### 次にジョブ閲覧の権限を追加する

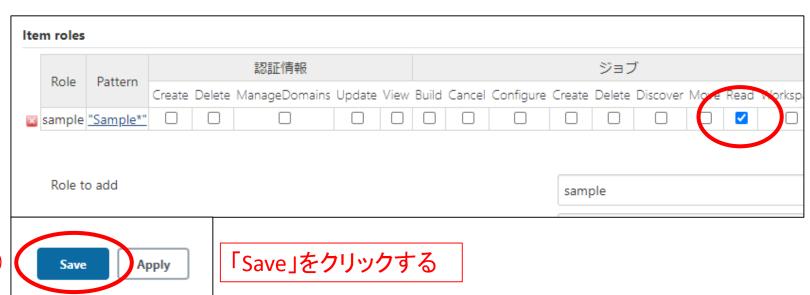


※「Sample.\*」とすると「Sample~」というジョブ名の閲覧が可能になる



#### ジョブ閲覧の権限を追加する

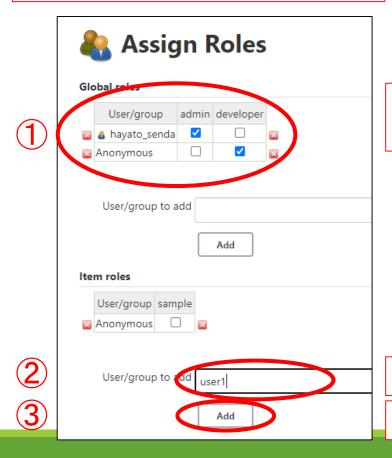
1 追加した権限名に権限を設定する



2



#### 追加したユーザに権限を設定する

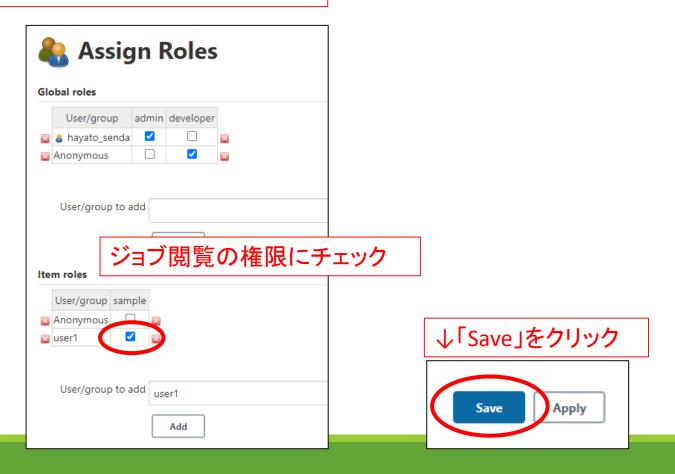


操作ユーザ → 「admin」にチェック Anonymous → 追加した権限にチェック

72ページで追加したユーザ名を入力

「Add」をクリック

#### 追加したユーザに権限を設定する



### 権限の設定を確認する



#### 権限の設定を確認する



設定通りにジョブが閲覧でき、 設定ができないことが確認できればOK